

2025(令和7)年度 旭丘高等学校生徒募集

募集学科 普通科(男女)・総合学科(男女)〔男女共学〕

※普通科には「一般クラス」「クリエイティブクラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※総合学科には「大学進学クラス」のジュネラルクラス(学業)進学クラス・スポーツ進学クラスの2つと「国際クラス」「進路探求クラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

※総合学科の大学進学クラス(学業とスポーツ)と国際クラスには大学進学希望者を対象にした「特別奨学生制度」(主として学業に関するものと主としてスポーツ・個性に関するもの2種類)があります。詳細は本校体験入学の特設講座や地区別相談会などの場でおたずねください。

※2025年度より「大学進学クラス」に「特別進学クラス」と「一般進学クラス」が設置されます。

文化祭 ー見学と相談会ー

11/9(土)

〈午前10時～午後2時〉

中学生と保護者の皆さんは
見学できます。
お問い合わせは旭丘高校
事務所まで。

体験入学セミナー開催 各回9:00～

会場：第1校地(城内キャンパス) / 第2校地(久野・荻窪キャンパス)

第1回	7/27(土)	第2回	8/24(土)	第3回	9/7(土)	第4回	9/21(土)
第5回	10/5(土)	第6回	10/19(土)	第7回	11/2(土)	第8回	11/16(土)
第9回	11/30(土)	第10回	12/7(土)	第11回	12/14(土)	第12回	2025 1/11(土)

体験入学セミナーの申し込み方法

参加申込は、右記コード(miraicompass)よりお申し込みください。

miraicompassに一度登録すると、次回以降の申し込みが簡単!

miraicompassは学校・受験生の受験・入試をサポートするサービスです。

イベント予約・インターネット出願を中心に全国の小学校・中学校・高等学校1200を超える学校で利用されています。



入試相談室を常設 〈いつでも進路相談可能です〉

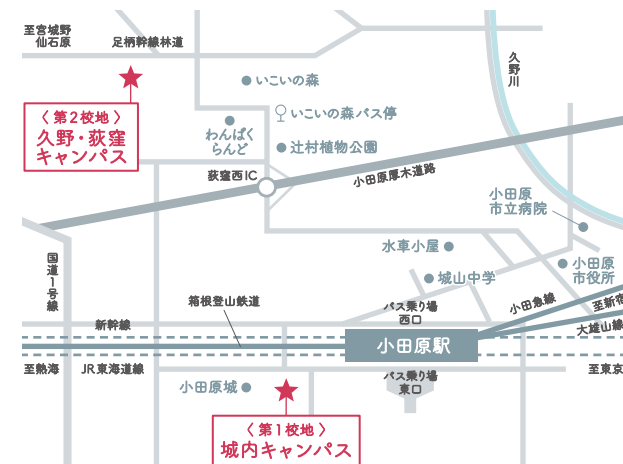
担当教員が、皆さんの学びや進路への願いを聴き取りながら、
旭丘高校の授業やカリキュラムについてわかりやすく説明します。

不登校生・外国籍の生徒の相談も受け付けております。

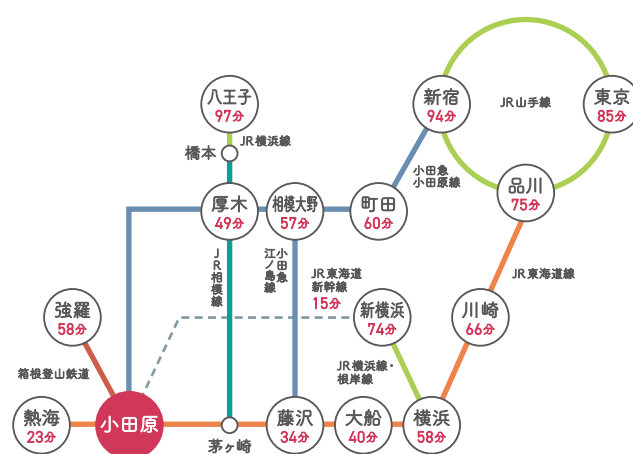
平日 17:00 ～ 20:00 土日祝 9:00 ～ 17:00
※他の時間帯でも相談に応じます。

ACCESS

小田原駅からのアクセス 車・徒歩



小田原駅までのアクセス 電車・新幹線



! HPもチェック!



<http://www.niina-gakuen.jp>

学校法人新名学園 旭丘高等学校

第1校地 | 〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号
TEL 0465-24-2227(代) FAX 0465-22-0216

第2校地 | 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪1980
TEL 0465-21-0660(代) FAX 0465-21-0680

ASAHI GA OKA SENIOR HIGH SCHOOL

一人ひとりの
進路を拓く

SCHOOL GUIDEBOOK 2025



学校法人新名学園
旭丘高等学校

個性を尊重する教育で 成長を見守り進路を導く

一人ひとりの学力を伸ばし、豊かな心と広い視野を育て、
未来を拓く教育を展開します

Think Globally, Act Locally

新名学園旭丘高校は、一昨年10月に創立120周年の節目の年を迎えました。
建学以来の伝統である、個性に応じた学校づくりを受け継ぎ、
教育体制を発展させて、多様な生徒を受け入れ伸ばす環境を整えています。
またThink Globally , Act Locallyの視野を育むため、地元小田原と連携した
グローバル教育も展開しながら、一人ひとりの人間形成、進路形成に結びつけています。

学校

なくてはならぬ指折仲間の人となれ
悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、
渋柿を見よ、甘干となる

学園創立者 初代校長 新名 百刀

- 新名学園創立記念日 毎年10月1日(百刀生誕日)
- 建学の精神を想う日 毎年9月第二月曜日
(百刀 祥月命日に近い月曜日)



旭丘高等学校「建学の精神」

上の言葉は1902(明治35)年に、新名学園旭丘高等学校を小田原の地に開設された新名百刀先生の講話の中の言葉です。生徒一人ひとりの可能性を大切にする建学の精神は、「全面的に発達した人間の育成を図る」とした現在の旭丘高校の教育目標に受け継がれ、国際化、情報化、個性化の「人間の世紀」を担う子どもたちを育てる私学づくりがすすめられています。

「教育目標」

日本国憲法と教育基本法、

子どもの権利条約の理念に基づき、

人権と自由、平和と民主主義、

学習権・発達権を保障する

学校の創造を図る。

自主的民主的な活動と社会参加を通して

豊かな学力と勤労を重んじる

全面的に発達した人間の育成を図る。

毎日すばらしい環境で稽古ができたことです。

スポーツに関する
広く深い学びが
できること。

真剣に教えてくれる
先生がいるので
全力でプレーができる。

ロードレースのように
何に対しても
「あきらめない」こと。

色々な個性を
持った人とふれあい
毎日が楽しいです。

クラブ活動を通して
競技力だけでなく
人としての成長が
高められています。

スポーツクラスの中で
他競技の人と多く
ふれあうことができること。
豊かな自然に囲まれた校舎で
ノビノビと体を動かせること。

先生方皆優しいのと
話しやすいです!
授業も楽しいし
わかりやすいです。

がんばれ
自分の好きなことに
全力で挑戦しよう。

体育祭や文化祭など
行事が楽しい。

Q 部活に入って良かったことは？	Q 旭丘高校のいいところは？	Q 部活に入って良かったことは？	Q 部活の中で学んだことは？	Q 旭丘高校に入学してよかったことは？	Q 旭丘高校に入学してよかったことは？	Q 旭丘高校のいいところは？	Q 旭丘高校に入学してよかったことは？	Q 中学生の皆さんにヒトコト。	Q 旭丘高校に入学してよかったことは？
総合学科スポーツ進学クラス3年 ニャムバヤル・ドゥルツェン (モンゴル国ゴト・ツョグツォルホル中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 加藤冬瑚さん (藤沢市立大清水中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 原田優衣奈さん (小田原市立聯宮中学校出身)	普通科クリエイティブクラス3年 岸大地さん (茅ヶ崎市立松林中学校出身)	総合科学進学クラス2年 神崎翔佑さん (神奈川県立東中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 渡部翔佑さん (厚木市立藤塚中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 松崎圭吾さん (小田原市立泉中学校出身)	普通科一般クラス2年 神崎瑠美さん (藤沢市立大清水中学校出身)	普通科クリエイティブクラス3年 村田達彦さん (小田原市立白山中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 黒柳流美華さん (海老名市立大谷中学校出身)

コミュニケーション能力の
大切さや自分が積極的に
意見を出すことの
大切さを学びました。

良いところは良い
ダメなところはダメと
先輩など関係なく
言えるようになった。

試合で結果を残したら
周りが評価してくれて
自信ができました。

生徒一人一人に
寄り添ってくれるところ。

先生が優しく
色々なことを学ぶ
環境がある。

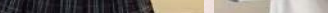
いろいろな学科があって
自分にあったクラスが
選べていいです。

秋の大会で
背番号一桁
取れたこと。

自己記録を
更新できたときの
達成感です。

不安なことを乗り越えたら
いいことたくさんあります。
一緒に頑張りましょう！

自分のやりたいことを
全力でやる中で気遣いや
礼儀、挨拶などを
学びました。

 Q 学校生活・部活の中で学んだことは? 総合学科スポーツ進学クラス1年 仁藤幸也さん (秦野市立西中学校出身)	 Q 学校生活・部活の中で身についたことは? ベーシッククラス2年生 三島さくらさん (茅ヶ崎市立松浪中学校出身)	 Q 一番嬉しかったことは? 総合学科スポーツ進学クラス3年 川合亜里門さん (小田原市立城山中学校出身)	 Q 旭丘高校のいいところは? 総合学科スポーツ進学クラス3年 新和佳奈さん (茅ヶ崎市立北陽中学校出身)	 Q 旭丘高校のいいところは? 総合学科スポーツ進学クラス3年 川村千之さん (南足柄市立岡本中学校出身)	 Q 旭丘高校のいいところは? 普通科クリエイティブクラス3年 齊藤大我さん (平塚市立山城中学校出身)	 Q 一番嬉しかったことは? 総合学科スポーツ進学クラス3年 矢守葵さん (海老名市立大谷中学校出身)	 Q 一番嬉しかったことは? 総合学科スポーツ進学クラス3年 浅野敦哉さん (鎌倉市立玉縄中学校出身)	 Q 中学生の皆さんにヒトコト。 総合学科スポーツ進学クラス2年 根上航平さん (寒川町市立旭が丘中学校出身)	 Q 旭丘高校に入塾してよかったことは? 総合学科スポーツ進学クラス2年 根上航平さん (静岡市立高松中学校出身)
---	---	--	---	---	--	---	---	---	---

1. 中学校でつまずいていても旭丘からまた再スタートできるところ。

2. 施設が充実していて、大学進学向けの授業構成で、進路が広がっていきます。なにより学校生活が楽しい!

3. 剣道の地区大会、1年女子の部で優勝したこと!

4. 練習や試合はもちろん応援にも全力なところ!

5. 表彰台に乗れたこと。

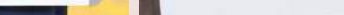
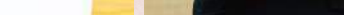
6. クラスメイト一丸となって体育祭で優勝したこと。

7. スポーツクラスにだけある基礎体力や部活に特化したスポーツ実習があること。

8. 自分の可能性を最大限に活かせること。

9. 先生が寄り添ってくれる。

10. チームのスタッフはもちろん、チームで行うボランティア活動などで人との関わりを深められたことです。

									
普通科一般クラス3年 寺嶋晴風さん (小田原市立城山中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 神山響子さん (平塚市立春日野中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 崇島渚さん (平塚市立中原中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 宮下陽太さん (横浜市立南戸塚中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 野地陽太さん (平塚市立神明中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 田中悠介さん (相模原市立鶴野森中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 片岡海来さん (茅ヶ崎市立中島中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 鈴木友佳さん (平塚市立神田中学校出身)	ベージュクラス2年 大参蔭季さん (小田原市立鶴宮中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 鈴木木緒さん (横浜市立西本郷中学校出身)

総合学科スポーツ進学クラス3年 岩崎運太郎 (寒川町立寒川東中学校出身)	普通科一般クラス2年 前田彩花さん (平塚市立横内中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 石川嘉紋さん (平塚市立横内中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 田中結菜さん (小田原市立白山中学校出身)	普通科クリエイティブクラス2年 泉康玖さん (二宮町立二宮西中学校出身)	普通科クリエイティブクラス3年 東岡キラさん (寒川町市立寒川中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 西岡キラさん (湯河原町市立湯河原中学校出身)	総合学科国際クラス3年 柴田早彩さん (秦野市立東中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 家城大夢さん (秦野市立西中学校出身)	普通科クリエイティブクラス3年 中西格策さん (大磯町立国府中学校出身)

旭丘高校のキャリア教育

ACADEMIC AND CAREER COUNSELING OF ASAHIGAOKA

教育の特徴

本校では、青年期の自立と学びの課題に応えるため、「成長」と「発達」を現実の生活や社会のなかでとらえ、「生活と教育を結合させる」視点で教育課程が編成され、普通科・総合学科の両課程ともに、様々な青年期教育のカリキュラムが配置されています。本校の教育課程は、「自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る」という教育目標を具体化したものです。その特徴は以下のような点にあります。

01

それぞれの個性と成長過程のなかで、様々な発達の願いと課題をもつ子ども・生徒たちの学びと発達を保障するための多様なカリキュラムが用意されています。

02

子ども・生徒の「学力」と「発達」の問題を、教室や学校の枠のなかだけでとらえるのではなく、子ども・生徒が生きる、現実としての生活や社会のなかでとらえようとする視点を持ち、「生活と教育の結合」を図っています。

03

生徒たちを「学ぶ主体」としていくことを重視し、生徒たちの「なぜ、何のために、何を学ぶのか」という問いかけに応え、「平和」「人権」「環境」など、現代社会の重要なテーマを各教科の授業と総合学習のなかで積極的に取り上げ、生徒と教師が横並びで取り組む問題解決型の学習を大切にしています。

04

教室の中の教科学習と、ホームルーム活動を通じた交わりや行事、地域活動への参加など教科外の活動を結びつけ、生徒が現実のなかから学ぶ課題を見出し、学ぶ意欲や関心、目的をもつことから出発して、人間力の基礎となる豊かな学力を育てます。

05

全学協議会や全学教育研究会などの場を通して、生徒・保護者の授業・学習への要求を受け止め、生徒・保護者の参加で授業・カリキュラムづくりを進めています。

進路を拓く キャリア教育

3年間のキャリア教育でつかむ 生き方と進路

3年間の高校生活を通して生徒が自立し、現代社会の課題と向き合って自らの進路・職業を選択していくために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通したキャリア教育が展開されています。1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。

1
年次

人と交わる力を養い 社会的自立の基礎を築く

生徒会主導のもと、ホームルームを基礎として、体育祭・文化祭・社会見学・卒業を祝う会などの様々な行事に取り組みます。生徒自身が目標を立てて、クラス全員が活躍できるよう工夫。充実した高校生活を送るなかで、人と交わる力を養い、社会的自立の基礎を築いていきます。

2
年次

ナガサキ平和学習で 「平和のうちに生存する権利」を学ぶ

長崎修学旅行を節目に「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実態や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向にも触れて、「平和のうちに生存する権利」を学びます。原爆を自然科学・社会科学両面からとらえた学習、平和への願いを込めた折り鶴づくり（事前学習）、被爆講和と碑めぐり、50字メッセージ作成（現地学習）、合唱構成詩づくり（まとめの事後学習）などを行います。

3
年次

3年間で学んだ3つの力で 「大きな進路」と「小さな進路」を決定する

3年間の、仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで得た「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」をベースに、2つの進路を決定します。人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ「大きな進路」と、自らの具体的な進学先や就職先などの「小さな進路」です。大学の先生や企業の方を招いた進路ガイダンスや三者面談、志望理由書の書き方や面接の受け方など、丁寧な進路指導が行われます。

自らの進路を拓く力の形成へ



「旭丘高校に入って大きく成長した」 あなたもその一人になるはずです

本校の生徒に高校生活について話を聞くと「中学時代には考えられないくらい変わった」「自分を表現できるようになった」「目標が明確になった」といった声を多く聞くことができます。一人ひとりの個性にとって、ふさわしいコースで学び、仲間と出会うことで、自分を大きく解放することができます。そのため積極性や前向きな姿勢が身につく、高校生活を満喫しながら、将来のことも真剣に考えて、努力できるようになります。それが個性を伸ばして輝かせる本校ならではの指導の力です。

なりたい自分に近づくために 希望の進路を実現

本校では「学力」の習得、向上とともに希望に応じた進学指導を行い、また豊かで柔軟な「心」を育むためのキャリア教育にも3年間通して取り組んでいます。キャリアガイダンスを随時実施して、一人ひとりに寄り添いながら、自分が学びたいテーマや将来の目標を見出し、それに合わせた進路実現のためのサポートを行っています。

3つの進学コース

国際クラス

多国籍の生徒が互いに理解を深め学び合い成長します

将来、国際的なフィールドで活躍したい、という考えをもつ生徒に応えるカリキュラム構成になっています。自分が習得を望む言語を集中的に学べることができ、多国籍の生徒同士による日常生活からも国際感覚が磨かれています。

⇒ P19

大学進学・学業進学クラス

将来を見据え、それを実現するための大学を目指します

大学進学を目標に3年間を過ごす生徒のためのクラスです。2025年度より、大学入学共通テストの活用などによる一般選抜型入試で大学を受験する「特別進学クラス」と、主に学校選抜型と総合選抜型の入試を活用して大学進学を果たす「一般進学クラス」が併置されます。共に、英数国を重点に学ぶカリキュラムと、キャリア教育と結んだきめ細やかな進学指導体制が整っています。

⇒ P20

大学進学・スポーツ進学クラス

スポーツを起点にした進路を拓くことができます

本クラスの進路の特徴は大きく2つあり、一つは高校時代の優れた実績をもとに推薦で大学へ進む「アスリート」タイプと、もう一つは、学校選抜型（推薦型）・総合選抜型入試などを活用して大学へ進むタイプです。

⇒ P21

⇒ P22

職業体験で新しい視点を獲得

課題研究（インターンシップ）の実践

総合学科3年次に職業体験学習が位置付けられています。体験を発表し、学んだことや発見したことを総括。職業観や労働観を培い、各職種における専門性などへの理解を深めます。そして自分の希望する進路、職業を叶えていくための上級学校進学への意欲を高めていきます。



生徒1人1台のPCを活用した教育展開

ICT教育への取り組み

本校では全教室へWi-Fi環境を整備し、生徒1人1台端末（クロムブック）を活用した授業を展開しています。教師と生徒の双方向型の授業はもとより、個別学習の充実、生徒の協働学習にも役立っています。また大学や専門家との連携による学びや姉妹校とのオンライン交流にも取り組んでいます。



一人ひとりに合ったサポート体制が充実

旭丘高校の進学指導は、生徒が将来の自分の目標を見出し、それに合った上級学校への進学を実現していくキャリア教育が特徴です。学校選抜(推薦)入試・総合選抜型入試とともに、一般入試による大学受験をサポートするカリキュラムと施設の進化・充実を図り、進学実績が向上しています。



「学習室」と「まなびコーチング」による学習支援体制

本校は、放課後に自主学習に取り組むことのできる、情報機器(電子黒板やタブレット型PC等)が整備された「学習室」を設けています。2023年度からは本校と「まなびコーチング」が協力して「学習室」を活用した学習支援体制の充実・進化に取り組んでいます。たとえば平日の放課後と土曜日、夏休み・冬休み・春休みには「学習室」に「まなびコーチング」のスタッフ(教室長とコーチ2名)が常駐し、生徒は以下のような支援を受けられます。



- 01 いつでも「学習室」を訪れ質問をしたり学習指導を受けることができます。
- 02 自分に合った学習プランを立てるサポートを受け、その後もそれを進めていくなかでアドバイスを受けることができます。
- 03 進路・進学ニーズに応じ、放課後にさまざまな分野別学習講座を開講します。
たとえば、「進学対応講座」「英検対策講座」「基礎学力定着講座」などがあります。

さらに、オンラインで学習プランについてのコーチング面談を受けたり、学習内容におけるさまざまな質問、相談をすることができます。(24時間受付)

一人一台端末の導入とスタディサブリの活用

2022年度入学生より生徒一人が一台の端末(chromebook)を持ち、情報活用能力を高めるとともに、教師と生徒の双方型の授業づくりが進められています。また「スタディサブリ」を導入し、生徒一人ひとりが自分のニーズに合わせた学習内容を映像で視聴し効率的・効果的に学習を行うことができるようにしています。「スタディサブリ」によって、自ら学習を進めることができ、家庭学習への積極的な取り組みが学力向上につながっています。



学習の課題と見通しをつかむ模擬試験

全ての学科・クラスで、それぞれの学びの特徴や課題に合わせた模擬試験を定期的を実施しています。模擬試験の結果を教師が生徒にフィードバックすることで、自分の学習がどこまで進み何が課題なのかを理解し、課題を克服する学習計画を新たに立てます。そして次の模擬試験で学習成果を確かめ達成感を得ることで、さらに意欲を持った学習へ発展させていきます。模擬試験は、自分の目的とする大学・短大・専門学校への合格を果たすための羅針盤にもなっています。



多様な進路のニーズに応えるカリキュラム

生徒一人ひとりの多様な進路に応じた学習をサポートする選択科目の充実も本校の特徴です。大学・短大への進学を希望する生徒には、グレード別の英語・国語・数学の講座や小論文指導の講座が設けられています。また上級学校での専門分野にかかわる検定対策講座や資格取得のための講座も多数配置。夏休み・冬休みには、日常学習をさらに深める理系・文系の進学対応講座や総合選抜型入試に向けたプレゼンテーション講座など、特別集中講座が開講されています。



VOICE



勉強以外のことを相談できるのも魅力です

テスト期間中、放課後に教室で勉強していましたが、モチベーションの維持が難しく先生に相談したことをきっかけに「まなびコーチング」に通うようになりました。初めて行ったとき「楽しかった」ことが大きな理由で、平日は19時まで、休日も開いているので積極的に活用しています。コーチとは勉強以外のことを話したり相談できるのも魅力です。この間、英検2級を受けましたが合格できたのはコーチのおかげです。学力もついてきたことを実感でき、進学を目指して頑張っています。

ベーシッククラス2年 高橋葉南花さん(厚木市立玉川中学校出身)

生徒たちの発達を保障する 総合的な学習の場

第2校地（久野・荻窪キャンパス）には、生徒たちの総合的な学習の場としてスポーツ・文化の施設・設備が整っています。スポーツ施設としては、バスケットボールコートが2面取れるアリーナ体育館やテニスコート、トレーニングルーム、ボルダリングウォール、相撲場、剣道場とともに公式のサッカーコートと陸上の100メートル直線トラックが具備された夜間照明付人工芝グラウンド（第1グラウンド）、そして現在第1期整備が完了した第2グラウンドです。さらに文化施設としては、木工加工室、電動ろくろと焼成窯を備えた陶芸室、農業実習地、共同炊事室などがあり、校地の中に広がるスギとヒノキの森林や校地の境を流れる川も生徒たちの貴重な学習の場となっています。

第二校地の2つのグラウンド

第二校地新総合計画に基づき
2020年に整備された
久野・荻窪キャンパス総合グラウンド



第二校地全体図



人工芝グラウンド



第2グラウンド

スポーツ施設



VOICE



素晴らしい環境で練習して結果を残したいです

入学前にサッカー部の練習会に参加し、人工芝のサッカーグラウンドがあることに驚きました。素晴らしい環境で練習ができると思い、進学を決めました。入学早々にケガをしてしまいましたが、人工芝だと色々なフィジカルトレーニングもできるので良かったです。今は回復し、週末の練習試合にも出場できるようになりました。ポジションはゴールキーパーで、中学では県大会に出場しましたが、高校では目標高く、個人的には県大会でベスト4に進みたいと思っています。

総合学科スポーツ進学クラス1年 佐々木威留さん（小田原市立鴨宮中学校出身）

文化施設



VOICE



世界に一つしかない
オリジナル作品ができます

2年のときに陶芸を選択しました。陶芸家の先生が優しく教えてくれるので未経験からでも安心して取り組みました。手回しろくろは最初、上手く回せなかったのですが、今はコツを掴んで回しながら思うようなカタチを作れるようになりました。これまで茶碗やお皿などを作り、自宅に使っています。3年でも引き続き選択していますが、陶芸はカタチはもちろん色づけも自分でやるので、世界に一つしかない作品をつくれるのが最高に楽しいです。

総合学科国際クラス3年 佐瀬亜依璃さん（茅ヶ崎市立中島中学校出身）

VOICE



食べられる植物を新発見！
将来そんな仕事をしてみたい

私が旭丘高校を選んだ大きな理由が第二校地の豊かな自然環境でした。生物学に関連した分野に興味があり、農業実習や森林学習ができることに魅力を感じました。今、2コマ取っている農業講座では農作物を育て収穫する貴重な体験をしています。猪などに野菜を食べられると、野生動物との共生についても考えたりします。世界的に食糧問題が叫ばれていますが、将来は世界中を巡って食べられる植物を発見し、生産、栽培するような仕事をしたいです。

総合学科進路探究クラス2年 高橋成生さん（横浜市立岩井原中学校出身）



学校生活の根拠地・ホームルーム



ASAHI
GAOKA

ホームルーム活動は50年以上前から始まった、本校の伝統的取り組みです。毎週のホームルームで班長会を中心に各クラスの問題点解決の話し合いや学校行事の方針決めなどが討議されます。これは生徒一人ひとりの意見や考えを汲み上げるもので本校の「生徒の主体性」を重んじる校風の表れでもあります。またPTA、教職員、同窓会などで構成される「全学協議会」にも参加しカリキュラムや校則、施設について討議するほか、生徒や保護者が参加しての「授業参観」を通し、より良い授業などについて話し合う機会もあります。さらに「公開まちづくりシンポジウム」などにも参加し幅広い視野、思考をもつための機会を提供しています。

VOICE



高校に入るとき、新しいチャレンジをすることを目標に掲げました。もともと前に出るタイプではなかったのですが、1年のとき班長に立候補しました。週1回の班長会で意見を交わし、さまざまな問題点の改善に向き合いました。たとえばクラスの生活態度改善などに取り組み成果が出たときは嬉しかったです。友人や先生に評価されると「やって良かった」とやりがいを感じますね。2年では班長と学年委員も兼任しています。チャレンジもステップアップして高校生活が充実しています。

総合学科進路探究クラス2年 鈴木ひなたさん(秦野市立東中学校出身)



長崎修学旅行と平和学習



ASAHI
GAOKA

2年次には、長崎修学旅行での現地学習を節目とする平和学習の年間のカリキュラムが本校独自のユニークな総合学習として展開されます。事前学習は原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた理科と社会科の先生による特別授業、亡くなった被爆者の方の思いを受けとめ平和を願う折り鶴づくりに取り組みます。さらに、長崎現地での平和学習は①被爆地で被爆体験を聞く、②原爆資料館で被爆の実相を読み取る、③被爆者の方々と共に碑めぐりを行い原爆の落ちたあの日を確かにイメージ化する、④爆心地公園で平和宣言を行う、⑤平和学習を総括する集いを持つ、の5段階で構成されています。そして、事後には文化祭で各クラスが平和をテーマとした企画に取り組むとともに、合唱構成詩づくりや50字メッセージ集づくりに取り組みます。現代における核の問題に目を向け、「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向に触れるなかで人類史の到達点としての「平和のうちに生存する権利」を学びます。

VOICE



修学旅行の前に事前学習として原爆がつくられた過程、長崎の被害の大きさ、といったことを学んでいたのですが、現地で予想以上の体験をしました。原爆資料館の見学、被爆者の方の講演、長崎の街に残る戦争の痕跡めぐりなど、どれも胸に迫ってくるものばかりでした。ウクライナやパレスチナの戦争について今まで以上に関心をもち、戦争の愚かさ、平和の大切さを思うようになりました。物事は「知る」ことで「考える」ようになることを、すごく感じた体験でもありました。

ベーシッククラス3年 根本智央さん(南足柄市立岡本中学校出身)



SDGsと旭丘高校の取り組み



ASAHI
GAOKA

誰一人取り残さない社会を目指して国連で採択された「SDGs—持続可能な開発目標」に対して、本校では独自の活動を展開。「質の高い教育」に関しては私学助成運動にいち早く取り組んできました。「環境」に関しては地域自治会の久野川・山王川一斉清掃活動に参加。「平和」に関しては長崎修学旅行・平和学習を継続しています。このほか「ジェンダー」に関しては女子制服へのスラックス導入などもあげられます。振り返るとまずSDGsありき、ではなく本校が伝統的に学校や社会の問題に目を向けてホームルーム等を通して、地域と共同して解決してきた取り組みが、SDGsとつながっている結果になっています。

VOICE



先日、久野川・山王川の清掃活動を行いました。私たち生徒会のメンバーに加えて野球部の1年生と有志が集まり、40人ほどで川辺の草むしりや近所の神社のゴミ収集などに取り組みました。みんな汗だくになりましたが終わった後は結構キレイになったので気持ちが良かったです。小学6年生のときに調べたことをきっかけに環境問題に関心をもつようになりました。高校の活動の一環として「環境」に向き合うことはとても大切だと思うので、これからも続けていきたいです。

ベーシッククラス2年 西村葵さん(茅ヶ崎市立北陽中学校出身)



久野川・山王川一斉清掃
全学の代表で私学助成の街頭署名

国際連携教育



ASAHI
GAOKA

創立110周年を機に位置づけた「国際連携教育」。これまでの中国の西安外国語大学附属西安外国語学校および安陽市開発区高級中学(日本の高校)、モンゴルのツェツェグン経営大学附属ウダム校の三つの姉妹校に加え、中国の私立・鄭州西斯達城市森林学校が今春から新たに姉妹校となりました。コロナ・パンデミックで止まっていた相互訪問によるホームステイや高校生文化・スポーツ交流、授業交流も再開の動きが始まりました。中国で“治水神”として崇められる中国古代夏王朝の碑文を、西安の碑林と涇旬川上流・福沢神社で読み解く「日中高校生共同フィールドワーク」を通して両国の関係を長い歴史的スパンで捉える学びが、旭丘高校ならではの地域と結んだ国際連携教育(Think globallyAct locally)の姿を表しています。中国やモンゴルの姉妹校の生徒が旭丘高校に留学して日本の大学への進学を目指す新たな留学生制度創設に向けた共同事業も展開中です。

VOICE



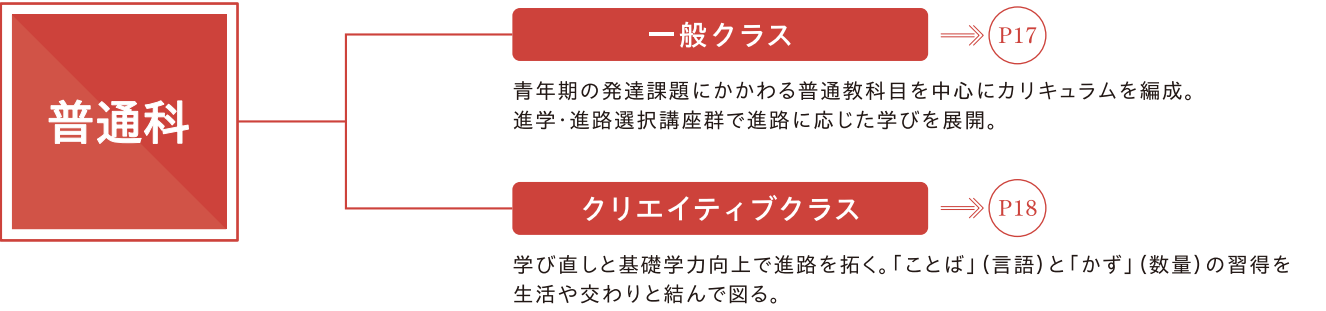
去年、青年代表団の一員に選ばれて中国の河南省へ行きました。世界遺産を見学したり、博物館を鑑賞したり、中国の文化に触れることができました。また現地の語学学校で日本語を学んでいる生徒と交流もでき、体育の授業も体験しました。街はキレイで、中国の人はみんな優しく、とても楽しめました。驚いたのは食事で、日本で食べている中華料理とは味付けが全然違いました。

帰国してから、新たに興味をもった中国語を選択して学んでいます。次回中国に行ったらコミュニケーションをとって旅をしたいと思っています。

総合学科スポーツ進学クラス3年 新和佳奈さん(茅ヶ崎市立北陽中学校出身)



旭丘高校の学科・クラスの構成



普通科の標準的カリキュラムモデル

大学での学びの土台となる広い基礎教養を身につけたい人の学習モデル（一般クラス）

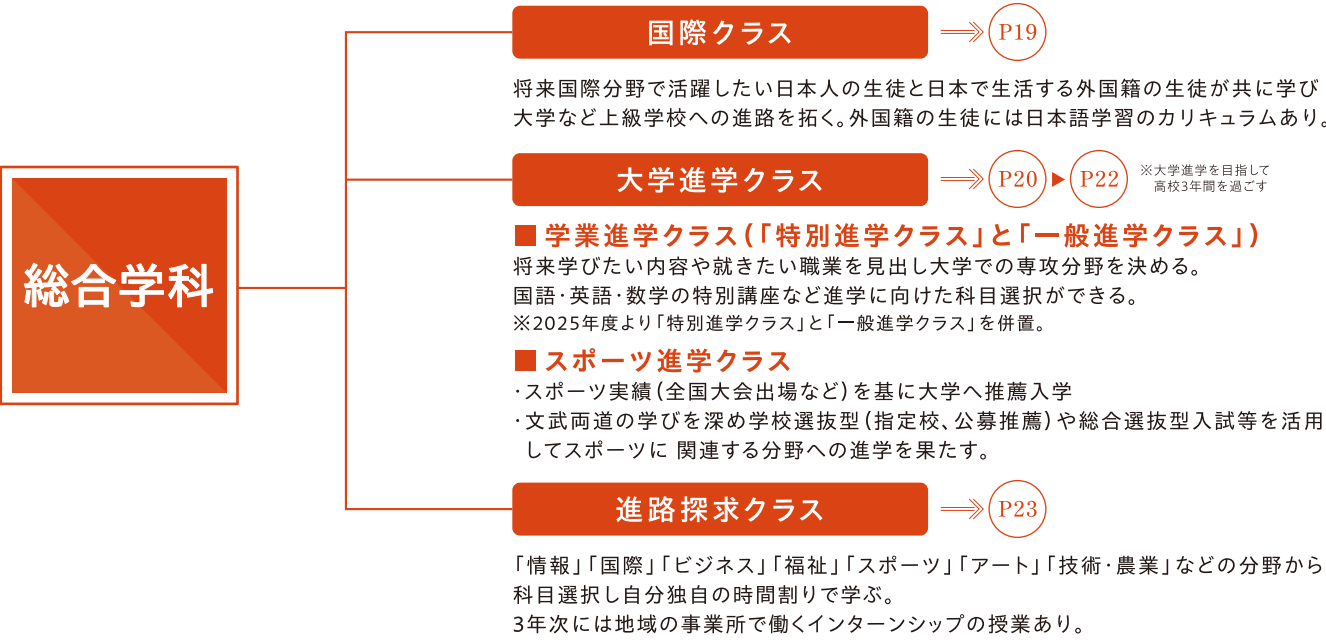
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	体育	保健	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	音楽Ⅰ	進学・進路選択講座	総合B	ロングホームルーム
2年	現代文	歴史総合	数学Ⅱ	物理基礎	生物基礎	体育	保健	家庭基礎	英語コミュニケーションⅡ	進学・進路選択講座		総合B	ロングホームルーム	
3年	論理国語	日本史探究	公共	科学と人間生活	体育	論理表現Ⅰ	美術Ⅰ	進学・進路選択講座				総合B	ロングホームルーム	

必修・共通履修科目群

選択科目群

総合学習の科目群

クリエイティブクラスには1年次・2年次に「言語」と「数量」が2単位ずつ配置されています。



総合学科の標準的カリキュラムモデル

学校選抜型（推薦）入試で情報系の大学や専門学校への進学を目指す人の学習モデル（進路探求クラス）

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	簿記	総合技術Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅰ	総合B	ロングホームルーム		
2年	歴史総合	地理総合	科学と人間生活	体育	保健	家庭総合	総合技術Ⅱ	プログラミング入門	マルチメディア活用Ⅰ	情報の活用Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅱ	資格の簿記Ⅰ	流通経済入門	探求英語	総合B	ロングホームルーム
3年	公共	体育	家庭総合	芸術選択	プレゼンテーション	マルチメディア活用Ⅱ	情報の活用Ⅱ	資格の簿記Ⅱ	マーケティング入門	経営分析Ⅱ	課題研究 (コンピュータ事務作業を体験)		総合B	ロングホームルーム		

必修・共通履修科目群

進路とキャリアにかかわる科目群

選択科目群

総合学習の科目群

学業進学クラスでは、国語と英語の科目が増単位され、選択科目で進学対応講座を履修できます。また、3年次の「課題研究」は進学特別講座を選択することもできます。（進学特別講座は、他クラスの希望する生徒も受講できます。）

スポーツ進学クラスには、この他に「基礎体力」「武道」「スポーツ実習」が必修化されています。

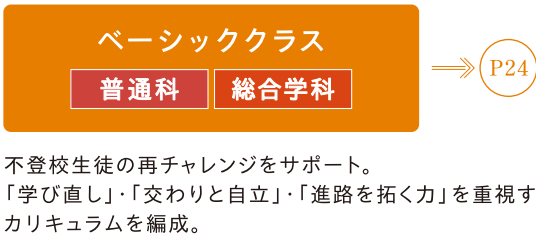
国際クラスでは、日本語を母語としない生徒（外国籍の生徒など）の日本語学習が位置づけられているとともに、日本人の生徒には英語とともに中国語・韓国語・イタリア語・モンゴル語や国際理解などの講座が選択できます。

ベーシッククラスの標準的カリキュラムモデル（総合学科）

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	体育	保健	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	基礎の数学	ことばと交わりⅠ	からだⅠ	総合B	ロングホームルーム
2年	歴史総合	日本史探究	化学基礎	体育	保健	家庭基礎	総合技術	総合選択科目		ことばと交わりⅡ	からだⅡ	総合B	ロングホームルーム	
3年	公共	科学と人間生活	体育	芸術選択	総合選択科目		総合選択科目 課題研究 (インターンシップ)		ことばと交わりⅢ	からだⅢ	総合B	ロングホームルーム		

普通科ベーシッククラスの生徒は、選択枠で普通科科目を履修できます。

総合学科ベーシッククラス総合選択科目には、進路探求クラスと同様に多彩な選択科目が配置されています。





自分の関心分野を伸ばし 将来の進路へつなげます

知識と学力を身につけ伸ばす、一般教科、普通科目群を中心にカリキュラムが組まれています。2、3年次に普通科目を中心とした多彩な進学・進路講座を設けています。そのため自分自身の関心や進路目標に合わせて学ぶことができ、得意分野の強化と苦手科目の克服が図れます。

また学校生活においてはクラスや学年の課題、各種行事の取り組みについて話し合う「ホームルーム」活動を中心に、物ごとに主体的に関わる姿勢を身につけ、仲間と共同する素晴らしさを体験します。このほか平和、人権、環境などの問題について学ぶカリキュラムにも特徴があります。



学び直しから学力を発展させ 豊かな人間性も育みます

小中学校のときに、何らかの理由で学習に対する困難や苦手意識を抱えてきた人や、高校生活で学び直しをして進路を拓きたいという意欲を持っている人を迎え入れているクラスです。主に1年次は小・中学校の学び直しから基礎学力を回復し、2年次以降は基礎を応用・発展させていきます。段階的なカリキュラムで無理なく学び、進学を希望、実現する生徒も多くいます。

また、さまざまな生育歴と、個性をもったクラスメイトと日々ふれあいながら、学校行事や地域活動などへの参加を通して、他者と関わり、交わることで豊かな人間性を育みます。



VOICE



「やればできる」ことを高校で実感しています

高校に入り、先生の丁寧な指導もあり勉強が好きになりました。「努力は実る」ことを実感しました。生徒会に入ったことで何ごとにも前向きに取り組めるようになったことも私自身の大きな変化です。今は大学へ進学してもっと学びたい、という意欲が湧いています。人との関わりに興味があるので経営学部や観光学部などを候補に検討中です。

普通科一般クラス3年 寺嶋咲風さん(小田原市立城山中学校出身)

この授業が好き

選択科目でとっている「水と生命」が面白いです。生命と水の関わりを学んだり、実験をしたり、今まで知らなかったことを吸収できることが刺激的です。

VOICE



基礎から学び直し、勉強が楽しく好きになりました

クリエイティブクラスで中学からの学び直しに基礎から取り組むことができました。先生のわかりやすい授業と、質問に丁寧に答えてもらえて、勉強が楽しくなり学力が伸びました。苦手の数学も今では得意科目になりました。情報系を学べる大学に進みたい、という目標もでき、指定校推薦での進学を視野に入れています。将来はエンジニアになりたいです。

普通科クリエイティブクラス3年 米内輝さん(平塚市立山城中学出身)

この授業が好き

1年から数学をとっていて、3年では「数II」と「数学C」をとっています。公式を覚え、難しい問題を解いたときなどは最高の気分になります。

総合学科

国際クラス

大学進学・学業進学(ジェネラル)クラス

総合学科



世界を舞台に活躍することを目指したカリキュラムです

将来、国際社会で活躍したいと考える生徒、日本で生活する外国籍の生徒がともに学ぶクラスです。日本人と外国籍の生徒が共通して受ける授業と選択制の授業があります。日本人の生徒は特に大学進学に必要な外国語の習得、外国籍の生徒は日本語能力検定N2以上の習得を目標としています。また英語やスペイン語を母国語とする生徒はその言語力を活用して大学入試に挑戦するケースもあります。日常生活においては、国を超えて言語を超えて友情が育まれ、お互いの国の事情や文化などを理解し合う、文字通りの国際交流、国際教育が実現しています。



VOICE



色々な国の文化や習慣を知ることができます

韓国語を学ぶことと、色々な国の生徒と触れ合えることに興味をもってこのクラスを選びました。日々の会話で中国、フィリピン、スペインなどのことを知ることができ視野が広がっています。クラスメイトはみな前向きで何ごとにも挑戦する姿勢に刺激され、私も将来の進路について真剣に考えています。

総合学科国際クラス3年 三浦梨桜さん(小田原市立酒匂中学校出身)

この授業が好き

1、2年と韓国語を学んできて3年では「スキルアップ韓国語」をとっています。だいたい会話も上達し、母との韓国旅行でも語学力が活かされ嬉しかったです!

目標を定めた大学進学をサポートするきめ細かく充実した指導を展開

大学への進学を目標にしたクラスです。カリキュラムは、英数国など進学的基础となる科目を重点に学ぶ共通履修科目をベースに、それぞれの進学学習に必要な科目を受講できる選択講座群を配置。さらに、定期的な模試による学力の到達度診断と結んだ学習計画づくりの指導、放課後と土曜日および夏休み・冬休み・春休みに開室されている学習室での「まなびコーチング」と連携した進学指導体制など、学びの環境が充実しています。またホームルーム担任と進路指導グループが連携して生徒に寄り添い進学のサポートをするキャリアガイダンス体制も特徴です。来年度より一般入試に挑戦する「特別進学クラス」と学校選抜型入試・総合選抜型入試を活用して進学する「一般進学クラス」が併置されます。



VOICE



高校生活で大きく成長しています

姉が旭丘高校に進学して積極的になった姿を見て「私も」と思い入学しました。先生の指導や周囲の影響もあり、前向きになることができ、私も学年委員に始まり生徒会に入り、今年から生徒会長を務めるなど大きく成長できていることを実感しています。イラストレーターになるという将来の目標も見つけました。

総合科学学業進学クラス3年 鈴木まひるさん(寒川町立寒川東中学校出身)

この授業が好き

英語が苦手でしたが、グループ分けしレベルに応じて学べる「進学英語」によって楽しさを発見しました。好きな洋楽の意味がわかるくらいに上達したいです。

総合学科 大学進学・スポーツ進学クラス



体育・スポーツ・健康分野に特徴的な科目を設けています

総合学科のカリキュラムの特徴を活かし、選択科目を多く設けています。そのため大学進学のための基礎となる普通科目と体育・スポーツ・健康分野の科目群をバランス良く学ぶことができます。体育・スポーツ・健康分野の科目は「科学的なトレーニング実践」「基礎理論(身体工学)」「専門的実技(実践)」「スポーツと進路に係わる学習」などの専門性の高い授業を行っています。また午後の実技の授業と部活動を一体化し、スポーツの技量を追究していく体制も整えています。スポーツ関連の学びは充実していますが、「アスリート」を目指して進学する生徒ばかりではなく、医療、健康系をはじめ教育や福祉、経営、観光、情報など進路はさまざまです。一人ひとりの希望の進路実現を目指し、ほかのクラス同様にきめ細かくサポートしています。



VOICE



将来は柔道整復師を目指しています

バスケットボールの技術向上と大学進学という目標を両立させるため旭丘高校に入学しました。バスケで今年最後の大会で県ベスト8を目標にしています。進学については将来、父の後を継ぎたいので、柔道整復師の資格取得を目指す大学を志望しています。3年になって先生に相談し、総合型選抜の入試対策を始めました。

総合学科スポーツ進学クラス3年 岩崎遥太さん(寒川町立寒川東中学校出身)

この授業が好き

体の基礎知識をはじめストレッチやトレーニング方法を学べる「基礎体力」という授業はスポーツに取り組む生徒にとってとても役立ちます。

身体を科学する最新機器を「基礎体力」の授業に

「peek a body」は、姿勢分析システムで、peek=見透かすという言葉通り、前後、左右の4方向の写真を撮るだけで、短時間で高精度に身体を透かし見ることができます。これによってミリ単位で姿勢の歪みや傾き、筋肉の硬さ、身体へのリスクなどを把握できます。改善点があった場合は修正していくことで、体調不良のリスクを減らすことはもちろん、スポーツにおけるトレーニング効果やパフォーマンスの向上につなげることもできます。公共のスポーツ機関や大学で採用されているシステムを本校ではいち早く取り入れて活用しています。



《3つの中心科目》

スポーツ進学クラスならではの科目を取り入れています

基礎体力

各種機器を使用した科学的なトレーニングによって自分の身体の仕組みを知ること、スポーツが人間の身体の健康に果たす役割を自覚するとともに、それぞれが取り組んでいるスポーツの種目に合わせた身体づくりにも役立てています。

武道

礼節という目的も持つ日本独自の武道を授業に取り入れています。目的の一つは日本の伝統文化への理解と関心を深めることです。また技の習得だけでなくスポーツマンとして、または人間として自己形成の土台をつくる目的もあります。

スポーツ実習

学校外の体育施設を利用したり、大学を訪問して教授や学生からの指導を受けたり、専門分野を深めていく実習を行います。授業終了後はそのまま部活動に移行することもでき、相撲、陸上、野球、男女バスケットボール、サッカー、剣道などその範囲が拡充しています。

総合学科 進路探求クラス



ベーシッククラス 普通科 総合学科



「自分だけの時間割」で学び 希望進路実現を目指します

1年次に基礎的な知識と技能を習得し、2、3年次に多彩な総合選択科目、自由選択科目から、自分の関心や希望進路に応じて科目を選択できます。情報、ビジネス、国際、福祉、アート、スポーツなど分野別の学習が可能で「自分に合った学び」ができる点が特徴です。キャリアガイダンスでは1年次に「交わりと自治」、2年次に「平和と人権」、3年次に「進路と生き方」を実施。特に3年次は大学、短大、専門学校、就職についてそれぞれの分野の講師を招いて話を聞くガイダンスも行っています。また担任との三者面談で一人ひとりの進路についてきめ細かい指導、サポートを徹底しています。



不登校生徒の成長を見守り サポートします

中学で不登校の経験をもつ生徒の学び直しと、コミュニケーション力を身につける授業を行っています。全日制課程での不登校生徒の受入れは県下唯一です。「ことばと交わり」「からだ」「基礎の数学」といった独自の科目を設けているほか、自主性を重んじるホームルーム活動で成長を後押しします。30人以下の少人数編成のため生活、学習両面で一人ひとりに目の行き届いた指導を実現。2、3年次に本校のほかのクラスへの移行も可能です。学校行事や課外活動はほかのクラスと同様の取り組みになり、キャリア教育などを通して高校で新たな目標を見つける機会を多く設けています。



VOICE



進路に応じたカリキュラムで充実しています

入学当初より、情報系の大学への進学を考えていたので、1年から情報科目が必修であったり、進路に応じた選択科目を修得できるのでこのクラスを選びました。希望通りの科目を学べてとても充実しています。今は、指定校推薦での進学対策に取り組んでいます。将来はゲーム開発やAI開発に携わりたいです。

総合学科進路探求クラス3年 谷脇海輝さん(平塚市立浜岳中学校出身)

この授業が好き

選択科目には資格取得につながるものもあり、私は推薦での進学を考えているので、特に資格取得に興味があり「表計算」を選択し、検定に合格しました。

VOICE



基礎から学び直し進学という目標ができました

入学後、基礎から学び直しができ勉強への不安が解消されていきました。テストでも良い結果が出て勉強が楽しくなって、進学を考えるようになりました。クラスの仲間の絆も前向きになれた一つの要因です。大学では心理学を学びたいです。志望校は決まっています。今、総合型選抜入試対策に力を入れています。

ベーシッククラス3年 原末羽さん(平塚市立神田中学校出身)

この授業が好き

3年間通して「からだ」という授業があり、第二校地の自然のなかで森林ウォーキング、沢登りなどを体験します。自然に触れるととても癒されます。



SCHOOL EVENTS 年間行事

仲間とともに学校生活

4	APRIL	5	MAY	6	JUNE	7	JULY	8	AUGUST	9	SEPTEMBER	10	OCTOBER	11	NOVEMBER	12	DECEMBER	1	JANUARY	2	FEBRUARY	3	MARCH
---	-------	---	-----	---	------	---	------	---	--------	---	-----------	----	---------	----	----------	----	----------	---	---------	---	----------	---	-------

- | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|--|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 入学式
(新入生オリエンテーション) 身体測定 内科検診 歯科検診 進学模試 | <ul style="list-style-type: none"> クローバー祭
(体育祭)
(進学者オリエンテーション) PTA総会 | <ul style="list-style-type: none"> 中間試験
(就職オリエンテーション等) ホームルーム懇談会 進路講演会 進学模試 | <ul style="list-style-type: none"> 期末試験 全学協議会 地域教育懇談会 視聴覚教室 クラブ合宿 | <ul style="list-style-type: none"> 全学教育研究集会
(第1部) 平和集会 クラブ合宿 夏季進学講座 | <ul style="list-style-type: none"> 就職活動 修学旅行(2年) 社会見学(1・3年) 避難訓練 進学模試 | <ul style="list-style-type: none"> 中間試験 PTS懇談会
(三者教育懇談会) | <ul style="list-style-type: none"> クローバー祭
(文化祭) 全学教育研究集会
(第2部) 進学模試 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業試験 期末試験 全学協議会 生徒総会 | <ul style="list-style-type: none"> かるた会 全学教育研究集会
(第3部) 進学模試 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業を祝う会 PTA総会 | <ul style="list-style-type: none"> 卒業式 学年末試験 生徒総会 |
|--|--|---|--|---|--|--|--|---|--|---|--|

VOICE



2年の文化祭でダンスを発表しました。クラスが3グループに分かれ、私たちのグループは「エビカニクス」と「ジャンボリミッキー」を披露しました。1カ月ほど前から練習に取り組みました。当日はほかの学年も巻き込んで盛り上がる事ができたのが印象に残っています。

総合学科スポーツ進学クラス3年 片岡海未さん
(茅ヶ崎市立中島中学校出身)



文化祭は最も盛り上がる行事の一つです。1年のとき、スポーツクラスらしい「キッキングスナイパー」を出し、中学生も楽しそうに参加していたのが嬉しかったです。また準備を通してクラスがさらに仲良くなって、一体感をもって取り組めるのも学校行事の良さだと思います。

総合学科スポーツ進学クラス3年 芝菜々美さん
(秦野市立渋沢中学校出身)

文化祭

VOICE



学年委員として、今年の体育祭は修学旅行へ向けて班活動を意識しました。ホームルームで決めた「みんなで参加しよう」という方針のもと、準備過程で班長が積極的に意見を出し責任をもって取り組んでくれて、クラスがまとまっていたことが嬉しかったです。

ベーシッククラス2年 日澤龍飛さん
(小田原市立千代中学校出身)



クラスで出場希望種目のアンケートをとり「みんなで参加」できたことが良かったです。正直、成績は良くなかったけれど、練習で団結力が高まったり、体育祭当日もお揃いのTシャツを着て、みんなで盛り上げて応援できたことでクラスの絆が強まりました。

ベーシッククラス2年 杉本良花さん
(藤沢市立羽鳥中学校出身)

体育祭





- 相撲部
- 陸上部
- サッカー部
- バスケットボール部
- 野球部

- ボウリング部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部

- 卓球部
- バドミントン部
- バレーボール部
- AFC(釣り)同好会



- 吹奏楽部
- 演劇部
- 書道部
- イラスト部
- 合唱部

- ティーコーディネート部
- 軽音楽部
- 交通研究部
- 生物部
- 陶芸部

- 農芸部
- 美術部
- 文芸部
- 簿記部

CLUB ACTIVITIES クラブ行事

仲間と鍛える心技体目標へのチャレンジ



VOICE



全国大会出場目指して毎日練習に励んでいます

バスケットボール部は私が入学した年に新設されました。練習は火曜日以外、毎日2時間集中して取り組み、1年生しかいなかった昨年、県でベスト16まで進みました。試合では3ポイントシュートを連続して決めて会場が盛り上がりたると嬉しいです。また副キャプテンとしてキャプテンをサポートして、部員への声かけや体調面に気を配っています。チーム一丸となって今年は全国大会出場という目標を達成したいです。

総合学科スポーツ進学クラス2年 西山智香さん(小田原市立鴨宮中学校出身)



運動部

VOICE



自分らしい「書」で最優秀賞をとりたいです

書道部には顧問の先生に誘われて1年の終わり頃に入部しました。私は小学生の頃から書道教室に通っていて、現在は部活と両立しています。書道は練習すればするだけ上達するのが楽しく、また部活の良さは練習の合い間にみんなとお互いの作品について話をしてアドバイスし合えること。これまで何度かコンクールで賞をもらったことはありますが、今年是最優秀賞をとれるような作品を書くことが目標です。

普通科クリエイティブクラス2年 泉龍玖さん(二宮町立二宮西中学校出身)



文化部

VOICE



インターハイで力を出し切って良い成績を残したい

子どもの頃から相撲クラブに入っていました。監督の岸田先生にはその当時から指導を受けています。高校では寮生活で心身ともに成長できたと思います。部員もみんな仲が良くて最高です。相撲は体が大きい相手でも工夫次第で勝てるところが面白い。勝って会場が湧くと嬉しいです。中学、高校と全国大会に出場してきましたが、今年最後のインターハイでは今までで最高の成績を残せるように頑張りたいです。

総合学科スポーツ進学クラス3年 松崎圭吾さん(小田原市立泉中学校出身)



運動部

VOICE



夏のコンクールで県大会出場を目指します

中学から吹奏楽部に入っていて、高校でもぜひ続けたいと思っていました。楽器はユーフォニアムを担当しています。吹奏楽は個性あるメンバーが一つにまとまって素晴らしい演奏をするのが醍醐味です。また私は楽器が好きなので担当以外にも色々な楽器に触れて、休憩時間などに音を出したりすることも楽しいです。現在は今年一番の目標である、夏のコンクールの県大会出場に向けてみんなで一丸となって練習中です。

総合科学業進学クラス2年 神崎はるなさん(秦野市立東中学校出身)



文化部





JONAI CAMPAS

《第1校地》城内キャンパス



正門



コンピュータールーム



ホール



図書室

TOPIC

第1・第2校地に 学習室整備

生徒たちが朝と放課後、土日に大学進学に向けた自主学習をするための学習室が整備されます。情報機器（タブレットやPC等）を具備し、講義、個別学習、教え合い学習等に対応するスペースを配置しています。



個別学習



グループ学習

小田原駅から徒歩5分 史跡と共生 「小田原のまちが教室」の校地

キャンパスの特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校舎と校庭
- 小田原城内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 主に普通科の「学び」の根拠地
- ICT機器を備えた学習室を設置

第1校地の主な施設・設備

第1校舎 2001年9月完成（エレベーター付4階建て）

- 〈1階〉 ホール・ホワイエ（総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場）
- 〈2～4階〉 普通教室・ゼミナール室、新名（百周年）記念会館（会議室、同窓会室、地域防災庫）

第2校舎 2001年8月耐震改修完了（4階切り取り耐震補強）

- 〈地階〉 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
- 〈1階〉 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・応接室・新名学園私学教育研究所
- 〈2階〉 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
- 〈3階〉 普通教室・学習室
- 〈屋上〉

第3校舎 2001年3月耐震強化・改修完了

- 〈1階〉 図書室・調理室
- 〈2階〉 コンピュータ室（I）（II）・芸術教室（書道・美術）
- 〈3階〉 理科実験室（I）（II）
- 〈4階〉 音楽室・被服室・ホール

第4校舎 1999年8月完成

- 〈1～3階〉 普通教室、保健室
- ※全棟耐震構造化・空調完備
- ※バリアフリー施設 2008年4月完成

体育館 改修2006年度完了

- 2階建て、器具庫、シャワー室付



KUNO OGIKUBO CAMPUS

《第2校地》久野・荻窪キャンパス

充実した運動施設



トレーニングルーム



剣道場



夜間照明付き総合グラウンド



アリーナ



相撲場

多種多様な教育設備



調理室



陶芸室



ボルダリングウォール



セミナールーム



校地を流れる川

緑豊かな自然と共生 地域と触れ合う教育システム

キャンパスの特色

- キャンパス総面積9万3946㎡
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 人工芝総合グラウンドなど地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地

スクールバスで登下校

第1校地（小田原駅）から第2校地間は
スクールバスで移動します。



第2校地の主な施設・設備

中央センター

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（エレベーター付）、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡

1号棟 2005年4月竣工

〈教室〉 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室（準備室）
〈特別教室〉 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室
〈管理施設〉 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫

2号棟 2005年4月竣工

〈教室〉 セミナー室（準備室）、学習室（キャリアカウンセリング室）
〈特別教室〉 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・
総合技術科（情報室・製図・デザイン室）・自然科学系実習室・
教材室・カウンセリング室
〈管理施設〉 会議室・倉庫

体育館

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

アリーナ 2007年11月竣工

バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、卓球室、多目的室（ダンス等）、視聴覚室、体育科準備室
※アリーナには床暖房設備整備

総合学習室

1号棟 2004年8月改修整備

トレーニングルームⅡ

2号棟 2002年3月改修整備

トレーニングルームⅠ

3～4号棟 2002年3月改修整備

武道場（相撲・剣道）

5号棟 2003年4月竣工

陶芸実習施設（電動ろくろ）、
窯室・教材準備棟/2003年8月竣工

農地実習地

- 食農教育・総合学習実習施設（農具庫と畑）
- 無農薬野菜栽培実習施設



Message

卒業生から中学生へのメッセージ

旭丘高校では3年間で自分の夢や目標を見つけ、育んだ生徒たちが、
その実現に向けて次のステージで頑張っています。
イキイキと自分の道を拓いている卒業生たちからのメッセージです。



杉山 颯輝さん

小学校教員
(大東文化大学教育学部卒)
2019年度
総合科学業進学クラス卒業
(平塚市立江陽中学校出身)

小学校の時に一人ひとりの生徒の新しい可能性を引き出してくれた担任の先生と出会ったことで、教師になる夢が芽生えました。いまは、実際に教壇に立ち、日々生徒たちと過ごす中で、生徒たちの小さな変化を感じることができ、それが喜びです。これから教師として心がけて行きたいことは、自分が旭丘高校でして来たように、生徒たち自身で問題を考え、力を合わせて解決していく、そういった自治の力を生徒たちに育んで行くことです。



山本 克洸さん

芸術家
(東京藝術大学美術学部卒)
2018年度
総合学科進路探求クラス卒業
(茅ヶ崎市北陽中学校出身)

高校時代に伸ばしてもらった自分の個性に大学でさらに磨きをかけることが出来ました。
教授や仲間からずっと刺激を受け続け、芸術家としても人間としても強引に成長させられた感があります。専門の油絵だけでなく映像や音楽の分野にも創作活動の幅を広げ、それらの多分野のつながりの中で自分の芸術を深める視点を持つことが出来るようになりました。これからも一生かけて芸術とは何かを探究していきたいと思っています。



大澤 美咲さん

総務省行政評価局職員
(大原簿記医療秘書公務員
専門学校卒)
2021年度
ベーシッククラス卒業
(茅ヶ崎市立萩園中学校出身)

地方公務員として地域の人たちを支える父の背中が、私の将来の目標になりました。専門学校で一生懸命勉強して国家公務員の試験に合格することが出来ました。いま局内で庶務や共済の仕事を担当していて、他の職員に感謝されることが嬉しいです。そんな自分がいるのは、高校時代にホームルーム活動などを通して人とかかわり方を学ぶことが出来たからです。自分が大きな国の仕事を支える一人であることの誇りを感じています。



増島 冬凱さん

明治大学法学部2年生
2022年度
総合学科進路探求クラス卒業
(鎌倉市立第一中学校出身)

高校時代にホームルームと学校、そして小田原のまちで様々な人と出会って学んだ人と人との関わりをさらに社会的な視点を持った学びへと発展させたいと思い、法学部に進学しました。大学2年生になり、一人暮らしを始めたことや法律に関する専門的な内容の学習がとても増えたことなど、新たな課題に直面しています。そんな自分を前向きにしてくれるのは、高校入学からずっと新たな挑戦を続け、自分の変化をつくり出して来れた経験です。



野地 高良さん

箱根町職員
(中央大学文学部卒)
2019年度
総合学科スポーツ進学クラス卒業
(箱根町立箱根中学校出身)

高校・大学と相撲の選手として全国大会に出場することができ、そんな自分をずっと応援支えてくれた箱根町に恩返しをしたいと思い、公務員試験を受けて箱根町役場の職員になりました。現在は窓口業務に携わっていますが、箱根町に住む皆さんの生活に密着してサポートする仕事は自分の望んでいたもので、とても充実感を覚えています。相撲はこれからも続け、相撲を通して地域とかかわり子どもたちの育成にも貢献したいと思っています。



山中 健太さん

東海大学体育学部2年生
2022年度
総合学科スポーツ進学クラス卒業
(厚木市立南毛利中学校出身)

大学で量質ともにレベルの高い練習とより強い選手との競い合いに直面しながらも自分が頑張れているのは、高校時代に培ってもらった下地、つまり「基礎体力」での学びや身体的基础づくりがあるからだ実感しています。文武両道の心を忘れず、学業成績も学内で上位に入ることが出来ました。昨年の関東新人ではじめてタイトルを取り今年の関東インカレでも5位に入賞したことをバネに、全日本インカレでの入賞を目指して頑張ります。



堀 アレクサジェンさん

青山学院大学文学部
英米文学科1年
2023年度
総合学科国際クラス卒業
(厚木市立藤塚中学校出身)

中学校3年生の6月にフィリピンから日本に来た私は、将来の進路を考え、日本語教育が充実している国際クラスに入学しました。様々な言語や文化をもつ仲間と交わる中で自分の視野が広がり、国と国をつなぐ仕事をしたという夢が生まれました。日本語能力検定N1にも合格して日本語に自信がつき、学校が「まなびコーチング」と連携して環境を整えてくれた学習室に放課後通い、自分の学力が確実に伸びていくのを感じました。



廣門 希美果さん

三育学院大学
看護学部4年生
2020年度
総合科学業進学クラス卒業
(平塚市立江陽中学校出身)

高校1年生の時の看護体験で、ただ身体を治療するだけではなく、人として患者さんとかかわり、心も含めての回復をサポートする看護師さんの姿に出会い、あこがれを持ちました。大学は全寮生で、コロナ禍の大変な状況のなかで先生と先輩の推薦を受けて寮長を務めました。高校時代のホームルーム班長や硬式テニス部部長の経験があったから出来たことで、自分の大きな自信になりました。小田原の総合病院への就職が内定しています。

大相撲5月場所で新十両として活躍

十両昇進を祝って母校・旭丘高校の皆さんが化粧まわしを贈呈してくれたことは、とても嬉しく、励みされ、13勝2敗の好成績につながりました。相模湾の「青」とモンゴルの空の「青」を下地に、まちのシンボル「梅と小田原城」を重ね、旭丘高校の城内キャンパスを添えたデザインは、自分が母校と小田原で過ごした青春を象徴するものです。さらに横綱を目指して精進を重ね、いままで支えてくれた人たちに恩返しをしたいです。



阿武剋閑
(チョイジルスレンさん)

大相撲・阿武松部屋
日本体育大学出身
モンゴル留学生・2018年度
スポーツ進学クラス卒業
(ウブス県ウランゴムス
第2中学校出身)



最近の進路状況

大学・短期大学

【一般選抜型・総合選抜型入試 合格】

慶応大学文学部	成蹊大学経済学部
青山学院大学文学部	亜細亜大学経営学部
青山学院大学経済学部	帝京大学文学部
中央大学国際経営学部	帝京平成大学人文社会学部
法政大学経営学部	拓殖大学国際学部
明治大学文学部	立正大学文学部
東京電機大学情報通信工学科	産業能率大学情報マネジメント学部
日本大学商学部	順天堂大学スポーツ健康科学部
日本大学国際関係学部	日本体育大学保健医療学部
國學院大學文学部	日本体育大学スポーツ文化学部
神奈川大学外国語学部	桐蔭横浜大学現代教養学部
神奈川大学化学生命学部	桐蔭横浜大学医用工学部

【学校選抜型 合格】

大東文化大学	桜美林大学	国士館大学	東京農業大学
関東学院大学	田園調布学園大学	亜細亜大学	東京富士大学
尚美学園大学	横浜商科大学	桜美林大学	東京福祉大学
和光大学	高千穂大学	淑徳大学	横浜美術大学
湘南工科大学	松蔭大学	宝塚大学	京都芸術大学
文教大学	日本文化大学	明海大学	帝京大学
玉川大学	相模女子大学	産業能率大学	山梨英和大学
東京工芸大学	鎌倉女子大学	神奈川工科大学	小田原短期大学
東海大学	多摩大学	東京成徳大学	日本大学短期大学部

専修学校

ESPエンターテインメント専門学校	横浜医療秘書専門学校	神田外国語専門学校	日本工学院八王子専門学校
YMCメディカルトレーナーズスクール	横浜公務員&IT会計専門学校	神奈川社会福祉専門学校	日本体育大学医療専門学校
アートカレッジヨコハマ	横浜実践看護専門学校	青山製図専門学校	武蔵野調理師専門学校
アジア動物看護理学療法専門学校	横浜調理師専門学校	専門学校ビジョナリーアーツ	町田製菓専門学校
アルファ医療福祉専門学校	横浜理容美容専門学校	中央歯科衛生士調理製菓専門学校	町田福祉保育専門学校
エコール辻東京	外語ビジネス専門学校	町田デザイン建築専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
トヨタ東京自動車大学校	原宿ベルエポック美容専門学校	東京スクール・オブ・ビジネス	茅ヶ崎看護専門学校
ホスピタリティツーリズム	厚木総合専門学校	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	大原医療秘書福祉保育専門学校
ヤマザキ動物看護専門学校	厚木調理師専門学校	東京マックス美容専門学校	大原簿記医療秘書専門学校
医療ビジネス観光福祉専門学校	国際動物専門学校	東京観光ホテル・トラベル学院専門学校	HAL東京
横浜fカレッジ	崎村調理師専門学校	東京自動車大学校	小田原看護専門学校
横浜こども専門学校	駿台外語&ビジネス専門学校	東京服飾専門学校	横浜医療専門学校
横浜テクノオート専門学校	尚美ミュージックカレッジ	日本ヒューマンセラモニー専門学校	厚木看護専門学校
横浜デザイン学院専門学校	湘央生命科学技術専門学校	日本外国語専門学校	大原東京町田情報ITクリエイター専門学校
横浜デジタルアーツ専門学校	湘南平塚看護専門学校	立志舎	NHO横浜医療センター付属横浜看護学校
横浜ビューティー&ブライダル専門学校	情報科学専門学校	日本さかな専門学校	日本電子専門学校
横浜リゾート&スポーツ専門学校	真野美容専門学校	日本工学院専門学校	

主な就職先

大栄フーズ株式会社	紀伊産業株式会社 鴨宮工場	日研トータルソーシング株式会社	株式会社ロピア
東京濾器株式会社	株式会社神奈中スポーツデザイン	富士電設工業株式会社	インターナショナルトイレットリース株式会社
ALSOK双栄株式会社	神奈川柑橘果工株式会社	日産工機株式会社	株式会社小田急リゾーツ
株式会社横浜屋	神奈川中央交通西 株式会社	光伸光学工業株式会社	株式会社マキバ
株式会社リブ・マックス	スタンレー電気株式会社	株式会社不二家	足柄乳業株式会社
名鉄運輸株式会社厚木支店	日本貨物鉄道株式会社関東支社	ミモザ株式会社	宝製菓株式会社
関東シモハナ物流株式会社厚木営業所	横浜ゴム株式会社平塚製造所	ホテル おかだ	東華軒
株式会社やまか	市光工業株式会社	吉池旅館	

旭丘高校は「無償教育」の考え方が基本です

私立高校生への手厚い「学費支援制度」で学費の不安や悩みは解決！

後期中等教育(高等学校段階)での学費無償化導入は、国際人権規約第13条にも定められています。旭丘高校は、子どもを「社会の宝」とし、国民みんなでお金(税金)と力を出し合って未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校運営の理念としています。「無償教育」の考え方のもと、学園・保護者・同窓生・地域で協力して国や県の就学支援制度・学費補助制度を充実させるための取り組みをしてきました。

公立高校の授業料は年収約910万円未満の世帯は実質無償化になっていますが、私立高校の学費負担は軽減されないのでしょうか？

国の費用により、私立高校等の生徒の授業料に充てる「就学支援金」が、年収910万円未満の世帯には一律に年額118,800円(公立の授業料分相当の月額9,900円)が支給され、また、保護者の所得によってさらに加算額(年収590万円未満の世帯は年額277,200円を加算)が支給されます。また、その他にも様々な支援制度があります。(下記参照)

私立高校生への県からの「学費補助金」について、教えてください。

①前年の所得金額が一定額以下の保護者に対して、県が学校に補助します。
②対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。
③「就学支援金」と併用して利用できますので、この「学費補助」とあわせ、所得区分に応じて、年額最大456,000円から193,200円の幅で支援されます(学校の授業料額が上限です)。

授業料負担がかなり軽減されることはわかりましたが、「入学金」や「施設拡充費」の支援策はないのですか？

授業料だけでなく、入学金についても「神奈川県」の学費補助金として100,000円が支援されます。生活保護世帯および県民税・市町村民税の所得割が0円(非課税)世帯は211,000円が支給されます。また、「社会福祉協議会教育支援金」や「母子父子寡婦福祉資金」の制度では、入学準備のための公的支援(貸付)も受けられます。

学費の問題で私学への志願を迷っている方へ

ここに紹介した国の就学支援金制度と県の私立高等学校生徒学費補助制度を活用することで、年収700万円未満程度の世帯に対しては、本校授業料が実質無償に、年収700～750万円程度の世帯では月額16,900円、年収750～910万円程度の世帯では月額23,100円に軽減されます。また、県内に在住の場合には、生活保護世帯および県民税・市町村民税が0円(非課税)世帯に対して入学補助211,000円が、年収約590～約750万円未満の世帯に対して入学補助100,000円が受けられます。旭丘高校では、入学金や施設拡充費等、入学時納入金の準備が困難な方に、様々な学費支援制度を紹介し、このような制度の活用によって納入の見通しが立った場合には、入学時納入金の延納措置についても相談に応じています。詳しくは、体験入学セミナーや学校説明会の機会にご相談いただくか、入試センターへお問い合わせください。

その他にこんな制度があります

- 「神奈川県高等学校奨学金」制度
(貸与制) 一月4万円
- 「神奈川県私立学校生徒緊急支援補助金」制度
(給付制)
- 母子父子寡婦福祉資金
(貸与制)
- 社会福祉協議会・生活福祉資金
(貸与制)
- 国の教育ローン
- その他の奨学金制度
—あしなが育英奨学金など

※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」もあります。年間14万4000円を貸与。卒業後2年間以内に返還する制度です。



HISTORY

❧❧❧ 創立122年 旭丘高等学校のあゆみ ❧❧❧

- 1902(明治35)年 ● 新名百刀によって裁縫・造化・織物伝習所開設
- 1904(明治37)年 ● 現小田原市本町に移転、新名裁縫学会と改称
- 1906(明治39)年 ● 私立学校令により県知事より設置許可を受け新名裁縫女学校と改称
- 1921(大正10)年 ● 新名女学校と改称
- 1923(大正12)年 ● 関東大震災により学舎大破、同年修復完了
- 1931(昭和6)年 ● 現本町(現小田原市民会館)を交付され、校有地となる
- 1935(昭和10)年 ● 実業学校令により文部大臣の認可を受け新名高等家政女学校と改称
- 1937(昭和12)年 ● 創立30周年記念行事举行
- 1942(昭和17)年 ● 初代校長(創立者)新名百刀死去
- 1943(昭和18)年 ● 財団法人新名高等家政学校を設置
- 1944(昭和19)年 ● 新名女子商業高等学校と改称
- 1946(昭和21)年 ● 新名高等家政女学校に復元
- 1947(昭和22)年 ● 教育基本法制定
- 1948(昭和23)年 ● 新制高等学校として新名女子高等学校と改称
- 1949(昭和24)年 ● 私立学校法施行
- 1951(昭和26)年 ● 学校法人新名学園を設立
- 1953(昭和27)年 ● 小田原市緑4の725に校舎の一部を新築/普通科過程を併設
- 1954(昭和28)年 ● 現在の第1校地に全校舎移転完了
- 1956(昭和31)年 ● 学校法人新名学園旭丘女子高等学校と改称
- 1958(昭和33)年 ● 箱根大平台研修室を建設
- 1959(昭和34)年 ● 旭丘高等学校と改称、男子部設置(当年度に限り実施)
- 第1校舎鉄筋コンクリート4階校舎建設に着手
- 第1校舎鉄筋コンクリート4階建て落成
- 商業科を併設(のち、総合学科に発展移行)
- 創立60周年記念行事举行
- 木造モルタル塗2階建て校舎(2教室)落成
- 4月第2校舎建設に着手
- 体育館建設に着手
- 体育館兼講道館落成
- 第3校舎(特別教室)落成
- 創立80周年記念事業式典举行
- 学園総合整備構想(計画)策定
- 創立90周年記念行事举行
- 「旭丘高校の教育を守る会」結成
- 家庭科廃止
- 水野浩学園長に就任
- 男女共学制復活実施、新教育目標改定(現行)/第4校舎落成
- 水野浩理事長に就任
- 第2校地多目的コートと管理棟・総合学習棟整備完了
- 第2校地総合グラウンド、スポーツ管理棟完成
- 創立100周年記念式典举行
- 第2校地5号棟完成
- 商業科廃止/全学協議会結成
- 第2校地中央センター落成
- 第2校地中央センターⅢ期
- 新名学園私学教育研究所設立
- 不登校生徒特別クラス(ベーシッククラス)開設
- 「新総合計画」策定/創立110周年記念式典举行/制服改定
- 中国・西安外国語大学付属西安外国語学校との教育交流開始
- 制服の改定(着用開始)
- 国際連携教育・第1次日中友好団訪中。
- 高校生文化・スポーツ交流実施
- 普通科クリエイティブクラス解説
- 姉妹校・西安外国語大学付属西安外国語学校来校(第1次)
- 姉妹校・安陽市第37中学校来校(第1次)
- 総合学科国際コース開設/第2校地総合グラウンド造成整備(人工芝サッカー場・陸上トラック、投擲フィールド他)完了
- 第2校地総合グラウンド人工芝サッカー場照明設置、キックインセレモニー完成式举行
- 創立120周年記念式典举行
- 中国鄭州西斯達城市森林学校と姉妹校提携



新名百刀先生の訓話の時間(昭和14年)



商業科併設(昭和36年)



男女共学、新制服を全学で考える



創立100周年記念式典



第2校地完成



日中国際交流



創立120周年記念式典

VISION 創立130周年に向けて

コロナ禍において教育シーンにおいてもさまざまな制約のあったなかで、本校は2022年に120周年を迎えました。その視線はすでに「次の10年」に向けられています。今後のビジョンとして青年期の発達教育の構築をベースに、情報教育、国際連携により力を入れていきます。ICT教育や海外提携校との交流の活発化などがその例です。また生徒の個性、可能性を育て広げていくために進路・進学教育を推進していきます。生徒に寄り添ったきめ細かい進路指導や学習支援体制の充実化などで成果を上げていきます。歴史と伝統を守りながら、時代に即した教育を展開していく本校のこれからにご期待ください。

新名学園私学教育研究所「5つの研究課題」

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。次の5つの研究課題のもと、子ども・生徒や保護者、教職員、地域の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- 1 私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- 2 子ども・生徒の発達研究。(建学の精神・教育目標にそって)
- 3 日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- 4 地球環境と地域環境の問題についての研究。
- 5 小田原のまちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちの教育・文化の創造」の課題。

理事長・学校長からのメッセージ

生徒の可能性を伸ばし広げる
充実した教育環境を整え
一人ひとりの未来をサポートします。

新名学園 旭丘高等学校
理事長・学校長
水野 浩

本校は一昨年10月に創立120周年の節目の年を迎えました。アフターコロナと言われる社会状況のなか、創立者 新名百刀女史が定めた建学の精神である「無くてはならぬ指折り仲間の一人になれ」「悪しきとてただ一筋に捨つるなよ、渋柿を見よ甘しとなる」を今に受け継ぎ、生徒一人ひとりの人間形成、発達保障、進路形成に向けた学校づくり、教育カリキュラムを発展させています。また計画の実現を豊かに図るため公費助成運動、SDGs運動を積極的に展開しています。

国際連携教育では中国の西安・安陽の二つの高校と姉妹校連携、モンゴル留学生受け入れとウランバートルの高校と姉妹校提携を実現し、ニュージーランドでの海外研修制度を展望しています。キャリア教育については従来クラスに加え2010年に不登校生徒の発達保障を図るベーシッククラスを開設以降、この10数年で学力回復と進路保障を図るクリエイティブクラス、大学進学ジェネラルクラス、スポーツ進学クラス、国際クラスと次々に独自の教育カリキュラムを整備。多様な個性と進路要望に応える体制を拡充

しています。また情報機器を備え学習支援ソフトを活用する「進学・学習室」や本校の担当教員とチューター(外部講師)との連携のもと「まなびコーチング」を取り入れ、生徒が学べる場の充実を図っています。

教育環境の充実を背景に生徒たちは自分の関心分野や目標を見つけ、進路・進学実績は飛躍的に向上しています。また相撲部や陸上部ははじめクラブ活動でも全国レベルの実績を残しています。

小田原の街とともに歩んできた本校は「地域立・市民立の私学づくり」にも取り組んでおり地域スポーツ、文化、国際交流の拠点として地域の人々に人工芝グラウンドや体育館を提供しました交流を図っています。

このような3年間を通して生徒の可能性を広げていく体制を整え、本校で学ぶ一人ひとりが、Think Globally , Act Locallyの視点を持ち、小田原の地から世界と歴史に身を置き、自らの未来を拓いていくことを全力でサポートします。